



NINTEX[®]
Workflow

インストール ガイド

**work
flow
for
every
one**

NINTEX[®]

support@nintex.com
www.nintex.com

目次

1. Nintex Workflow 2010 のインストール	3
1.1 インストーラーの実行	3
1.2 ソリューション パッケージの展開	3
1.3 Nintex Workflow 2010 Enterprise 機能のインストール (オプションの追加機能).....	4
1.4 ライセンスのインポート	4
2. データベース構成	4
2.1 データベースの構成	4
2.2 コンテンツ データベースの追加 (オプションの追加機能).....	5
3. Nintex Workflow 2010 サーバー設定の構成	5
3.1 Web アプリケーションのアクティブ化	5
3.2 Nintex Workflow 2010 ワークフロー アクションの有効化	5
3.3 電子メール設定の構成	5
3.4 LazyApproval™の有効化と構成 (オプションの追加機能).....	6
4. Nintex Live (オプションの追加機能).....	6
4.1 Nintex Live への接続	6
4.2 Nintex Workflow 向けに Nintex Live を有効化する	7
5. 機能のアクティブ化	7
5.1 サイト コレクションのアクティブ化	7
5.2 サイトのアクティブ化	8
付録 A: User Access Control (UAC) について	8
付録 B: ワークフロー実行時に必要な SharePoint サービスについて	8

システム必要条件

オペレーティング システム

Nintex Workflow 2010 は Microsoft Windows Server 2008 または 2008 R2 にインストールする必要があります。

ブラウザー クライアント

Microsoft Internet Explorer 7.x (ただし Microsoft Internet Explorer 8 以降を推奨)。

ソフトウェア

Nintex Workflow 2010 では、次のソフトウェアがインストールされ、正しく構成されている必要があります。

- Microsoft SharePoint Foundation 2010 または Microsoft SharePoint Server 2010
- SQL Server 2005 SP3、SQL Server 2008 または SQL Server 2012
- Nintex Forms 2010 v1.0.0.0 以降 (Nintex Workflow を Nintex Forms 2010 と併用の場合)

1. Nintex Workflow 2010 のインストール

1.1 インストーラーの実行

1. ソリューションおよび機能を展開するのに十分な特権を持つ SharePoint 管理者としてサーバーにログインします。インストーラー ファイル (msi) をダブルクリックして[Next](次へ)をクリックします。

注意: User Access Control (UAC) を有効にしている場合は、付録 A を参照してください。

2. 使用許諾契約書に目を通します。インストールを続けるには、[I Agree](同意します)を選択する必要があります。[Next](次へ)をクリックします。
3. Nintex Workflow 2010 のインストール場所を選択します。既定の場所は C:\Program Files\Nintex\Nintex Workflow 2010\ です。[Next](次へ)をクリックします。
4. SharePoint に今すぐソリューションを追加するか(推奨)、後で SharePoint Powershell を使用してインストールするか(詳細設定)を選択します。[Next](次へ)をクリックします。
5. Nintex Live をインストールするかどうかを選択します。これにより Nintex Live Framework と、Nintex Live への接続に必要な証明書がインストールされます。

注:Nintex Live の使用方法については <http://www.nintex.com/licensing> の Nintex ライセンス情報をご覧ください。また、Nintex Live の構成方法についての詳細は [セクション 4.0](#) をお読みください。

6. 続行する準備ができたというメッセージが表示されます。[Next](次へ)をクリックします。
7. 上記ステップ 4 で[ソリューションの追加]を選択した場合は、コマンド プロンプト ウィンドウが一旦表示されてから非表示になります。少し待つと [Installation complete] (インストール完了)画面が表示されます。[Close](閉じる) ボタンをクリックします。SharePoint Central Administration がバックグラウンドで読み込まれているはずです。

1.2 ソリューション パッケージの展開

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[システム設定]をクリックします。
2. [ファーム管理]セクションの[ファーム ソリューションの管理]をクリックします。「nintexworkflow2010.wsp」というソリューションが表示されます。「nintexworkflow2010enterprisefeatures.wsp」というエントリも表示されますが、こちらは Enterprise バージョンのライセンスをお持ちの場合にのみ展開してください。
3. 「nintexworkflow2010.wsp」リンクをクリックし、さらにツール バーの[ソリューションの展開]リンクをクリックします。
4. [展開先]セクションで[すべてのコンテンツ Web アプリケーション]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。
5. 少したつと、[ソリューション管理]ページに戻ります。この時点で「nintexworkflow2010.wsp」が[展開済み]として表示されているはずです。
6. ステップ 3 と 4 を繰り返し、「nintexworkflow2010.wsp」を再度展開してください。[サーバーの全体管理]の Web アプリケーションを[展開先]として選択してください。

1.3 Nintex Workflow 2010 Enterprise 機能のインストール（オプションの追加機能）

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[システム設定]をクリックします。[ファーム ソリューションの管理]をクリックします。
2. “ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp”リンクをクリックし、ツールバーの[ソリューションの展開]リンクをクリックします。
3. [展開先]セクションで[すべてのコンテンツ Web アプリケーション]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。
4. 少したつと、[ソリューション管理]ページに戻ります。この時点で「ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp」が [展開済み]として表示されているはずで
5. ステップ 2 と 3 を繰り返して、「ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp」を再度展開してください。[サーバーの全体管理]の Web アプリケーションを[展開先]として選択してください。

注意: これは SharePoint サーバーの全体管理から管理レポートを実行するために必要です。

1.4 ライセンスのインポート

本製品の全機能をご使用になりたい場合は、Nintex 発行のライセンスファイルが必要です。このライセンスは、完全版製品ライセンスでも評価版ライセンスでも結構です。ライセンスファイルは SharePoint の[サーバーの全体管理]にインポートする必要があります。

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。[ライセンス]をクリックします。
2. [インポート]ボタンをクリックします。
3. [参照]をクリックしてライセンスファイルを検索します。ファイルが見つかったら [インポート]ボタンをクリックします。
4. [ライセンス]情報が表示されます。をクリックします。

これで Nintex Workflow 2010 のデータベース構成に進むことができます。

2. データベース構成

2.1 データベースの構成

1. [Nintex Workflow の管理]ページに移動して[データベースの設定]をクリックします。
2. [構成データベース]内の[作成]ボタンをクリックします。
3. お使いのデータベース サーバーとデータベース名を入力します。

注意: 既定では、データベース サーバーは既定の SharePoint データベース サーバーとなります。

注意: Nintex Workflow 2010 では複数のデータベースを使用して、1 つを構成用に、その他をコン

コンテンツ用に使用することができます。既定では、構成データベースはコンテンツ データベースも兼用します。また、必要に応じてさらにデータベースを追加することもできます。

4. [OK]をクリックします。

注意: 小規模なファームの場合は、コンテンツと構成データベースに同一のデータベースを使用するのが適切です。複数のコンテンツ データベースを追加することにより、Nintex Workflow 2010 は各サイト コレクション内の複数のワークフローを別々のコンテンツ データベースに自動的に配分し、負荷を分散します。

2.2 コンテンツ データベースの追加 (オプションの追加機能)

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。
[データベースの設定]をクリックします。
2. [コンテンツ データベース]セクション内の[コンテンツ データベースの追加]をクリックします。
3. 上記セクション 2.1 のステップ 3 と 4 を繰り返します。
4. これにより[構成データベース]セクションに 2 種類のコンテンツ データベース接続文字列が表示されます。

3. Nintex Workflow 2010 サーバー設定の構成

3.1 Web アプリケーションのアクティブ化

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。
[Web アプリケーションのアクティブ化]をクリックします。
2. 既定の Web アプリケーション名が自動選択されます。[アクティブ化]をクリックします。

3.2 Nintex Workflow 2010 ワークフロー アクションの有効化

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。
[許可されたアクションの管理]をクリックします。
2. Workflow Designer に表示したいアクションのボックスにチェックマークを入れて、
[OK]をクリックします。

3.3 電子メール設定の構成

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。
[グローバル設定]をクリックします。
2. お使いの環境の詳細を適宜入力し、[OK]をクリックします。

3.4 LazyApproval™の有効化と構成 (オプションの追加機能)

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。
[LazyApproval™設定]をクリックします。
2. [現在のサーバー ファームでの LazyApproval™の有効化/無効化]をクリックします。
3. [サーバーへの受信メール設定の構成]をクリックし、お使いの SharePoint 構成に関するガイド文書に従って構成を行います。
4. 構成が完了したら[LazyApproval™]のページに戻ります。[電子メールにより LazyApproval™を有効化]セクションで[はい]を選択します。この際に[エイリアス]の入力を求められます。これは通知を送信し、LazyApproval™による返信を受信する電子メールアドレスで使用される名前です。[OK]をクリックします。
5. LazyApproval™処理で認識される使用可能な語句のリストが表示されます。適宜用語の追加と削除を行ってください。

4. Nintex Live (オプションの追加機能)

Nintex Workflow の Nintex Live 機能を使用すると、Nintex Live カタログから Nintex Workflow アクション ツールボックスに各種の Web サービスを追加できます。

注意: Nintex Live フレームワークとNintex Live への接続を有効化するための証明書をインストールする必要があります。上記セクション 1.1 のステップ 5 で「Nintex Live のインストール」を行わなかった場合は、「nintexlivecore.wsp」を手動でインストール・展開し、[証明書]フォルダから全ての証明書をインポートしてください。「nintexlivecore.wsp」と「証明書」フォルダは、Nintex Workflow 2010 インストール フォルダに含まれています。

重要: SharePoint の[サーバーの全体管理]をホストしないコンピュータに Nintex Workflow 2010 をインストールした場合、Nintex Live の使用には以下の追加ステップが必要となります。SharePoint の[サーバーの全体管理]をホストするサーバーにログオンし、SharePoint PowerShell コマンド プロンプトを開いて次のコマンドを実行してください:

```
install-liveservice
```

これにより Nintex Live の構成の準備が整います。

4.1 Nintex Live への接続

Nintex Live フレームワークは、Nintex Live との通信にインターネット接続を必要とします。

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Live 管理]をクリックします。[接続設定]をクリックします。
2. [Nintex Live]セクション内の[テスト接続]をクリックします。
3. Nintex Live への接続が確立可能な場合は、[接続成功]というメッセージが[テスト接続]ボタンの下に表示されます。

注意: お使いのネットワークでインターネット接続にプロキシサーバーが必要な場合は、[プロキシサーバー]セクションにサーバーの詳細情報を入力してください。これらの設定は Nintex Live フレームワークに特定のものであり、インターネット接続が許可される唯一のアプリケーションとなります。

4.2 Nintex Workflow 向けに Nintex Live を有効化する

1. [サーバーの全体管理]ページに移動して[Nintex Workflow 管理]をクリックします。
[Live 設定]をクリックします。
2. [Nintex Workflow 向けに Nintex Live を有効化]のセクションで[有効化]をクリックし、さらに[OK]をクリックします。

5. 機能のアクティブ化

5.1 サイト コレクションのアクティブ化

1. トップ サイト レベルのホームページに移動します。[サイト アクション]をクリックし、[サイトの設定]を選択します。
2. [サイト コレクションの管理]内にある[サイト コレクションの機能]をクリックします。
3. [Nintex Workflow 2010]ページに移動し、[アクティブ化]をクリックします。
4. 少し待つとページが更新され、ステータスが[アクティブ]になります。
5. このサイト コレクションの各サイトで Microsoft InfoPath 2010 を使用してデザインした開始フォームやタスク フォームを使用するには、[Nintex Workflow 2010 InfoPath フォーム]ページに移動して[アクティブ化]をクリックします。
6. このサイト コレクションの各サイトで Nintex Workflow の Web パーツを使用するには、[Nintex Workflow 2010 Web パーツ]ページに移動して[アクティブ化]をクリックします。
7. このサイト コレクションの各サイトで Nintex Workflow Enterprise レポート Web パーツを使用するには、[Nintex Workflow 2010 レポート Web パーツ]ページに移動して[アクティブ化]をクリックします。

注意: この機能は Enterprise 版でのみ使用可能です。

8. このサイト コレクションの各サイトで Nintex Live カタログを使用するには、[Nintex Workflow - Nintex Live カタログ]ページに移動して[アクティブ化]をクリックします。

注意: この機能は Nintex Workflow の Nintex Live 機能が有効化されている場合のみ使用可能です。

9. [SharePoint リスト フォーム用 Nintex Forms 2010]ページに移動して[アクティブ化]をクリックすると、Nintex Forms 2010 を使用して SharePoint リスト フォームがデザインできます。

注意: この機能は Nintex Workflow 2010 とともに Nintex Forms 2010 がインストールされている場合のみ使用可能です。

これで各サイトでも Nintex Workflow 2010 の各機能をアクティブ化できるようになります。

5.2 サイトのアクティブ化

1. トップ サイト レベルのホームページに移動します。[サイト アクション]をクリックし、さらに [サイト設定]をクリックします。
2. [サイト アクション]セクション内の[サイト機能の管理]をクリックします。
3. [Nintex Workflow 2010]を見つけ[アクティブ化]をクリックします。
4. 少し待つとページが更新され、ステータスが[アクティブ]になります。
5. このサイト コレクションの各サイトで Nintex Workflow 2010 Enterprise = レポート Web パーツを使用するには、[Nintex Workflow 2010 Enterprise レポート]を見つけ、[アクティブ化]をクリックします。

注意: この機能は Enterprise 版でのみ使用可能です。

これで Nintex Workflow 2010 の操作およびデザインが可能になります。

付録 A: User Access Control (UAC) について

使用環境で UAC が有効になっている場合は、管理者特権で msi を実行する必要があります。

1. [スタート]メニューに移動し、[コマンド プロンプト]オプションを右クリックします。
[管理者として実行]を選択します。
2. [はい]をクリックします。
3. 「msiexec /i c:\nintexworkflow2010.msi」というコマンドを入力します。

注意: パスを msi ファイルのダウンロード先の場所に置き換えます。

付録 B: ワークフロー実行時に必要な SharePoint サービスについて

お使いの SharePoint ファームでワークフローを実行する際に有効化と実行が必要な SharePoint サービスの詳細については、以下のリンクからテクニカルペーパー(英語版のみ)を参照してください。

- [ワークフローおよびワークフロー実行時に必要な SharePoint サービス](#)